中学校英語情報誌

Sunshine Letter

先生方に
役立つ情報を
お届けしています。

ガイドキャラクター
サンシャインくん

即興力って、何？

LumineImages/Shutterstock.com

2023.2
Vol. 2

中学校で実際に使用されているワークシートをご覧いただけます！

本資料は「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

Sunshine Letter は
Webコンテンツと
連動しております。

KAIRYUDO

BearFotos/Shutterstock.com

Sunshine Letter

2023.2 Vol.2

今回のテーマは…

即興力って、何？

中学校の卒業時、生徒たちは何ができるようになっていればよいのでしょう。即興的に考えや意見をまとめて述べたり、友だちと語り合ったりする姿を思い浮かべる先生方が多いことと思います。では、そのような生徒たちをどのようにして育てたらよいのでしょう。さまざまな方法があると思いますが、ここでは即興的に話す力の基礎となる「対話を継続する力」の育成について述べます。

対話を継続する力を養うために、小学校から続けているSmall Talkを中学校でも帯学習に取り入れることを提案します。各課のTryを使って1分間トークをしてみませんか。「いきなりフリートークはちょっと……」という心配があるなら、開隆堂出版ホームページ掲載の「活動お助けシート TryでLet's Enjoy Q&A」をぜひご活用ください。生徒が聞き手側としてRCQ（Reaction / Repeat - Comment - Question: 田村岳充先生〈宇都宮大学〉より）にくり返し取り組むことによって、対話の基本的な型とともに、対話の内容が発展し深まることを体験しながら学んでいきます。帯学習Tryの効果により、生徒たちがScenesを自由にアレンジして楽しむ姿や、Our Projectのプレゼンテーション後に行うQ&AやCommentタイムで質問や意見を躊躇（ちゅうちょ）することなく述べる姿を見ることができるようになります。

※ 即興的に話す力の基礎となるもう1つの要素である、「自分の意見や考えを構築する力」の育成については、ホームページ上で公開しています。

吉田 喜美子
佐賀県吉野ヶ里町立東脊振（せふり）中学校

佐賀県スーパーティーチャー（2008年4月～2023年3月）、文部科学大臣優秀教員表彰（2014年度）、英語教育推進リーダー（2015年～）、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』（文部科学省）作成協力

CONTENTS

02 巻頭言 … 吉田 喜美子

04 RECOMMEND
私のワークシート、お見せします！
… 角田 優子／杉光 いづみ

06 特集
即興的な「やり取り」の重要性と指導上の留意点
… 大城 賢

08 おしえてアリソン先生
… 長谷川 アリソン

知っておきたい特別支援教育
… 飯島 睦美

RECOMMEND

・先生たちのオススメをご紹介・

私のワークシート、お見せします！

中学校で指導されているお二人の先生に、実際のワークシートを見せていただきました。

角田 優子
佐賀県鳥栖市立
田代中学校教諭

平成20（2008）年より「三神メソッド」開発チームの中心として授業実践。平成26（2014）年より7年間の県立中学校勤務を経て、現職校で教鞭を執る。平成30（2018）年度・令和元（2019）年度　佐賀県ICT利活用教育推進員。佐賀県教育センター英語科講座　講師。

オリジナルのTryで即興力アップを目指す

SUNSHINE 各課にある帯活動Tryは、既習の語句や表現を用いて即興的な「話すこと［やり取り］」の活動を行うために設けられています。私は、その実践において「活動お助けシート　TryでLet's Enjoy Q&A」（開隆堂出版ホームページで公開）を活用しています。このシートでは、聞き手としてのスキルを磨きながら対話の型を習得することができます。

本稿では、第2学年の職場体験と関連させたTryの活動例を紹介します。

①単元計画やルーブリック（図1）で、活動の目標や身につけたい力を確かめる。

②職場体験後にレポートを作成する（総合的な学習の時間）。

③オリジナルで作成した「TryでLet's Enjoy Q&A」を使ってやり取りを行う。（図2）

④職場体験発表会と、その内容に関するやり取りを行う。

本校では、各教科等の学習活動とパフォーマンス活動との関連を図り、生徒たちの「伝えたい」気持ちを高めています。③によって生徒は「話すこと［やり取り］」の活動のレディネスができた状態で、④の発表会を迎えます。実践では、積極的にやり取りを楽しむ姿や質問に即興で答える姿が見られました。

実践を通し、即興力とは真逆と思われる「粘り強さ」の大切さに気づかされました。年3回のOur Projectにおいて、生徒が自然で即興的なやり取りができることを目指し、今後もTryのパフォーマンス活動を積み重ねていきたいと考えています。

POINT

生徒は、本文内の表現や「TryでLet's Enjoy Q&A：職場体験バージョン」のフォーマットを積極的に生かす。
教師は、生徒の「言いたいけれどうまく表現できないこと」をリサーチし、まとめる。

▼図1

Rubric for Good Speakers

	暗記	発音&スピード	アイコンタクト&笑顔	やりとり
A+	原稿なし	・美しい発音 ・適度なスピードで聞き取りやすい	・聞き手を見回している ・アイコンタクト ・笑顔	質問を聞いて、すぐに答えることができる。
A	チラ見のみ	発音よし	・アイコンタクト ・笑顔	時間はかかるが答えることができる。
B	ときどき見る		アイコンタクトか笑顔	
C	原稿を読む	聞き取りにくい	修行不足	質問に答えることができない。

※ Rubric for Good Listeners はホームページからご覧ください。

▼図2

TRY for Our Work Experience

Let's talk about our work experience.	OK.
Where did you work on your work experience?	Me?　I worked at (自分の事業所名).
Oh, RC.　Where is it?	Well... It is near (近くの建物など).
I got it.　What did you do there?	I (自分がしたことを英語にしてみよう).

CHECK

☑オリジナルのTryは教師のねらいに沿っているか。

☑ルーブリックを使用し、積極的なやり取りができるよう意識させているか。（図1）

題材に焦点を当てたやり取り
—【知る⇔考える⇔伝え合う➡行動する】—

世界中で戦争や環境破壊など深刻な問題が起きていますが、生徒たちは、どこか他人事と捉えていると感じるときがあります。私は「社会と関わりながら自分ができることを問い続ける生徒」を育てるため、【知る⇔考える⇔伝え合う⇒行動（自分ごと化）する】の大枠で単元の指導計画を立てています。そして、そのすべてにおいて即興的なやり取りを取り入れています。本稿では、*SUNSHINE 3* PROGRAM 6 の展開例とワークシートを紹介します。単元のゴールは「プラスチックごみの問題から環境問題に話題を広げ、自分にできることや行動目標を考える」です。

▶ 知る

①Scenes 2の題材である米国ワシントン州のサクラの木に関係の深い人物の紹介を聞き、わかったことや感想などを即興でやり取りする。

②次の活動に向けて、豪華な修学旅行を想定して、行ってみたい場所について即興でやり取りをする。

▶ 知る⇔考える⇔伝え合う

①Thinkにおいて、生徒たちが行ってみたい場所が抱える問題を映像で視聴し、感想を伝え合う。

②追加の動画や統計資料などを見て、わかったことや感想を発表する。

③次時の冒頭に、前時の振り返りとしてリテリングとコメントを発表する。

▶ 考える⇔伝え合う

①自分たちの生活と環境問題の関わりを知り、自分に何ができるかを考える。

②自分にできることを書いたカード（図1）を思考ツール（図2）に並べながら、小グループで伝え合う。

▶ 行動する

『ハチドリのひとしずく』の朗読を聞き、自分ができることを考える。

杉光 いづみ
佐賀県嬉野市立
吉田中学校教諭

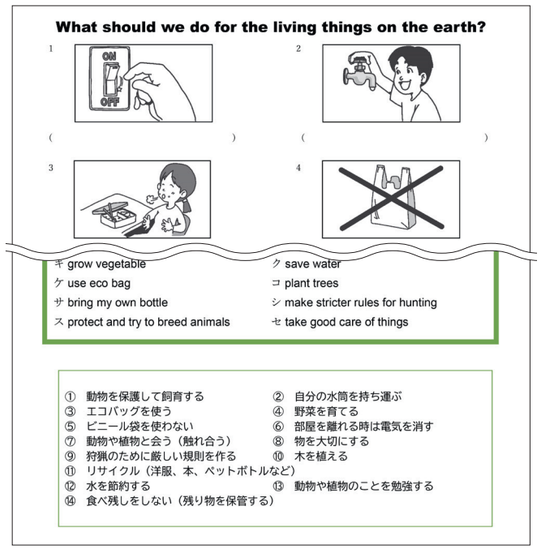
平成26（2014）年度英語教育推進リーダー中央研修終了。平成27（2015）年、佐賀県英語教育推進リーダーとして佐賀県で伝達講習を実施。佐賀県教育センター講座の講師を務める。佐賀県中英研の事務局で指導法改善部を担当。鹿島・嬉野・藤津地区の研究アドバイザー。

社会的な話題について自分のことばで語る活動を通し、未来を生きる生徒の人生が豊かになることを願い、日々の実践に取り組んでいます。

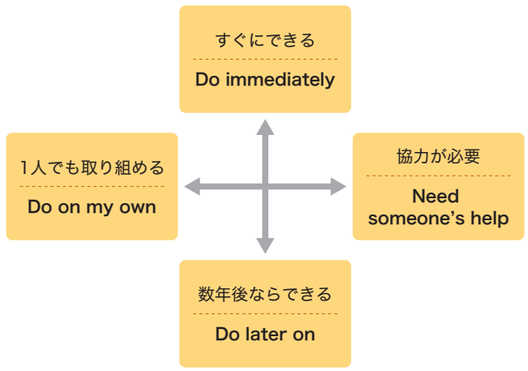
CHECK

☑社会的な話題について即興でやり取りができるようにするために、【知る⇔考える⇔伝え合う⇒行動する】という流れで、発話の場を設定する。

▼図1



▼図2



各ワークシートは開隆堂出版ホームページからダウンロードができます。

特集

即興的な「やり取り」の重要性と指導上の留意点

大城 賢

Profile

琉球大学名誉教授
琉球大学教育学部卒業。
琉球大学大学院教育学研究科（教育学修士）修了。
2020年3月まで琉球大学教授を務める。琉球大学名誉教授。同客員教授。

「やり取り」の重要性

今般の学習指導要領では、「話すこと」を「やり取り」と「発表」の2つの領域に独立させています。その理由としては、これまでの指導が「発表」に偏っていたことが挙げられます。発表には、「準備して、暗記して、話す」という傾向がありました。しかし、日常的な場面では、「準備して、暗記して、話す」という場面はほとんどなく、むしろ双方向で、即興で「やり取り」をする機会が多いものです。そういった意味では、より現実的な場面に即した領域の設定になったと思います。

また、「やり取り」は言語習得の研究からも、その重要性が指摘されてきました。コミュニカティブアプローチやタスク中心の教授法では、「やり取り（interaction）」における「意味交渉（negotiation of meaning）」によって言語習得が促進されると考えています。意味交渉とは、会話が通じないときに、言っていることを互いが理解できるように工夫することです。その工夫には、以下の3つがあります。

❶ 明確化要求（clarification request）
相手の発言が理解できないときに、発言を明確にするように要求することによって、話し手はどのように言えば相手に伝わるかを考えることになり、言語の習得が促進される。

❷ 確認チェック（confirmation check）
相手の発言を自分が正しく理解しているかを確認することによって、自分の理解が正しいかを確認でき、言語の習得が促進される。

❸ 理解チェック（comprehension check）
自分の発言を相手が正しく理解したかを確認することによって、自分の発言の正しさや間違いに気づくことができ、言語の習得が促進される。

現実の言語使用において機会が多いこと、また、言語習得の観点からも有効であることを考えると、即興的な「やり取り」を授業に取り入れていくことの重要性は、いくら強調してもし過ぎることはありません。

Learn to Communicate から Communicate to Learn へ

学習指導要領では、「言語活動を通して指導する」ことが求められています。「言語活動」とは「自分の考えや気持ちなどを伝え合う」ことです。ことばの本来の役割は「自分の考えや気持ちなどを伝え合う」ことであり、外国語と言えどもことばであることに変わりはありません。そのことを踏まえた指導が求められます。

また、もう一つ大切なのは「通して」という点です。説明や練習も大切ではありますが、それを授業のメインにするのではなく、実際に自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を中心にして指導を行う必要があります。簡単に言うとCommunicate to Learn（学ぶためにコミュニケーションを行う、使いながら学ぶ）と言いかえられると思います。ですから、まずは「使わせてみる」ことが重要です。そこに「意味交渉」が起こり、言語の習得が促進されます。

英語学習は「漆塗り」

直山（2021）は「英語学習は『漆塗り』のほうが適切なたとえで、傷が付いたり割れが入ったりしても、何度も上から塗り重ねて完成させるイメージ」と述べています。「傷が付いたり割れが入ったりしても」というのは、はじめから完璧なものを求めないということです。しかし、間違いをそのままにすることではありませんから、塗り重ねて完成度を高めていくことになります。学習指導要領には、小学校の内容を含めてくり返すことが大切と指摘されており、本誌で吉田先生や角田先生が述べておられるように、帯学習 Try などを活用し、継続することが大切です。

伝え合いたい思いを育む

「伝え合いたい」という思いがない人にことばを教えるのは至難の業です。母語の場合はその思いがあるからこそ、特別な場合を除いては、ほぼ難なくことばを習得することができます。同様に、外国語においても「伝え合いたい」という思いを育むことが大切です。そのためには、本誌で杉光先生が述べておられるように、生徒が社会で起きている問題を自分ごとと捉え、教科書の題材を教室と社会をつなぐ「種」と捉えることが大切です。

最後に

「伝え合いたい」という思いに引っ張られて、即興的に英語の既習表現が引き出されます。即興なので言語的にも内容的にも完成していませんが、だからこそ「意味交渉」が生じ、言語の習得が促されます。それが「言語活動を通して学ぶ」ということでもあります。

引用文献
直山木綿子（2021）『小学校外国語教育の指導と評価』文溪堂

生徒の「伝え合いたい」という思いを育みながら、間違いをおそれずに「やり取り」の活動にくり返し取り組ませることが大切なんだね！

おしえて アリソン先生

長谷川 アリソン 立教大学講師

1989年から福島県内の小・中学校で英語を指導。2012年から宮城教育大学の特任教授。現在は立教大学などで英語指導法などを教えている。

第2回 THとSの発音

ネイティブスピーカーの長谷川アリソン先生による「英語の発音指導法5分間動画」を全4回で連載中です。スキマ時間にぜひご覧ください！
第2回は、日本人にとって難しいとされている「THとSの発音」について、授業ですぐに使えるフレーズを用いながら解説しています。

この動画へのリンクはこちら

知っておきたい

特別支援教育

第2回　何につまずく ― 読み書き

読み書き障害の発生率は、英語圏で10～15%、日本で1.8～7%と言われます。英国ブルネル大学のワイデル教授らの研究「言語の粒性と透明性」の仮説では、この差は言語の特徴によるものとされています。

「粒性」とは1文字がもつ音の大きさのことで、英語は音の最小単位が日本語に比べて小さいという特徴があります（右図参照）。「透明性」とは、文字と音の対応の明快さのことです。たとえば英語のappleとtakeのaは、発音が異なります。一方で、日本語の「おかあさん」、「あか」などの「あ」はいつも同じ発音です。このように、文字と音の対応が英語は「1対複数」、日本語は「1対1」となっています。

英語のように「粒」が小さく、「透明性」が低い言語では、読み書き障害が現れやすくなる傾向にあります。日本語での学習や音声中心の英語学習が続いている間は表出しにくいので、文字の読み書きができる前提で

〈ディスレクシアの発生率に隠された謎：「言語の粒性と透明性」〉

アルファベット文字			
英語圏 10～15%	音の最小単位が小さい	dog： ○○○ d/o/g	
	文字と音の対応が複雑	apple take	難
ひらがな・カタカナ			
日本 1.8～7%	音の最小単位が大きい	かた：か / た：ka/ta	
	文字と音対応が1対1	おかあさん あか	易

（Wydell & Butterworth, 1999, 発表者作図）

英語学習を始めると、その障害に気づくケースが少なくありません。英語学習が本格的に始まる前に、「文字と音に対する弱さがないか」を確認することで、英語学習へのレディネスを高められるかもしれません。

飯島 睦美 群馬大学 大学教育センター教授

英国バーミンガム大学修士。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位満期取得退学。

中学校英語情報誌
Sunshine Letter Vol.2
非売品

2023年1月30日印刷　2023年2月3日発行　編集兼発行人　岩塚太郎
発行所　開隆堂出版株式会社　〒113-8608　東京都文京区向丘1-13-1
☎(03) 5684-6121（営業）、5684-6118（販売）、5684-6115（編集）　https://www.kairyudo.co.jp/

開隆堂出版株式会社
本社　〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎ 03-5684-6111

北海道支社　〒060-0042　北海道札幌市中央区大通西11丁目4番地21 52山京ビル7階　☎ 011-231-0403
東北支社　〒983-0852　宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階　☎ 022-742-1213
名古屋支社　〒461-0004　愛知県名古屋市東区葵1丁目15番18号 オフィスサンナゴヤ9階　☎ 052-908-5190
大阪支社　〒550-0013　大阪府大阪市西区新町2-10-16　☎ 06-6531-5782
九州支社　〒810-0075　福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階　☎ 092-733-0174